

京都大学国際高等教育院

# 紀 要

## 第 5 号

### 論 文

- 京都大学におけるフランス語教育の変遷と課題  
——1949年から21世紀にいたるまで——……………西山 教行 …… 1
- 日本語科目と専門科目をつなぐための橋渡しプログラムの役割  
……………阿久澤 弘陽, 岡村 佳代, 黒崎 佐仁子, 棚橋 明美 …… 19
- 形式名詞「うち」の意味ネットワーク  
……………ルチラ パリハワダナ, 高橋 雄一, 近藤 安月子 …… 37

### 実践報告

- 日本語 (L1) から英語 (L2) に機械翻訳されたアカデミックエッセイにおけるエラーの分類——京都大学 EGAP ライティングクラスで得られた具体的な結果と一般的な示唆——……………柳瀬 陽介, デイヴィド リーズ …… 59
- 協定等に基づく多文化共学短期受入留学プログラム (通称: 京都サマープログラム) ——10年間の実践記録と今後の展開への視点——  
……………韓 立友, 西島 薫, 河合 淳子 …… 81
- 理系学部留学生のための専門日本語教育の課題と可能性  
……………岡田 幸典, 佐々木 幸喜 …… 103
- Kyoto iUP 生を対象とした「日本語上級 (文献講読 IIIA)」での実践  
——再話活動による使用語彙の拡充を目指して——……………佐々木 幸喜 …… 119

### 研究ノート

- 英文法の学習経験の共有を示唆する認識的態度:  
授業内グループワークの会話分析から……………横森 大輔 …… 135
- 中国語教育の現場から見た機械翻訳……………劉 愛群 …… 153

### 調査報告

- 国際高等教育院の活動 (2018–2020) ……宮川 恒, 伊藤 紳三郎, 高橋 由典 …… 173
- 2021 (令和 3) 年度 2 年生進級時アンケート報告書…………… 197
- 投稿要領…………… 261

2022 年 3 月

## 『京都大学国際高等教育院紀要』投稿要領

平成 29 年 4 月 26 日 教授会決定

### 〔名称及び目的〕

- 1 国立大学法人京都大学国際高等教育院（以下、「教育院」という。）が編集及び発行する教育・研究誌を『京都大学国際高等教育院紀要』（以下、「本誌」という。）と称する。
- 2) 本誌は、教育院教授会構成員の教育・研究及び本教育院が企画・実施する教養・共通教育に係る活動を公表することを目的とする。

### 〔編集〕

- 2 本誌の編集は、教育院教授会において選出された編集委員会において行う。投稿された原稿の採否は、編集委員会が査読の上、決定する。
- 2) 編集委員会に委員長を置き、教育院副院長をもって充てる。委員長は、院長の指名による。

### 〔投稿資格〕

- 3 本誌に投稿できる者は、以下とする。
  - ①教育院教授会構成員
  - ②前項以外の者であって、編集委員会が適当と認めたもの

### 〔原稿〕

- 4 投稿原稿は、1に掲げる目的に係るものとし、内容上、他誌に寄稿または現在投稿中のものを除く。
- 2) 投稿原稿は、各号につき、各教員 1 編を原則とする。

### 〔種別〕

- 5 原稿の種別は、論文、研究ノート、書評、調査・報告その他類似のものとする。その種別は、執筆者の申出によることを原則とする。

### 〔書式〕

- 6 提出原稿は、A4 版横書きとし、和文にあつては 40 字× 35 行、英文にあつてはダブルスペース 25 行とする。
- 2) 提出原稿の分量は、論文 20 枚程度、書評 5 枚程度、研究ノート及び調査・報告 10 枚程度とし、提出原稿に種別を明記する。
- 3) 原稿は、日本語及び英語による標題、要旨（日本語 400 字程度、英語 200 語程度）並びにキーワード（5 つ以内）を付して提出する。標題頁、要旨・キーワード頁及び本文の順とする。
- 4) 提出は、電子ファイル及び出力原稿とする。

### 〔執筆言語〕

- 7 執筆言語は、日本語又は英語その他とする。

〔査読〕

8 査読は、編集委員会が選定した2名の査読者が行う。

〔校正〕

9 校正は、編集委員会のコメントに基づき、執筆者本人が所定の期日までに行い、再校までとする。

〔著作権〕

10 本誌に掲載された論文、研究ノート、書評、調査・報告その他類似のものの著作権は、教育院に帰属する。

2) 教育院は、掲載原稿を電子的な手段により配布する権利を有する。

3) 執筆者が掲載原稿を自身の著作物に掲載し、又は電子的手段により公開・配信するときは、事前に編集委員会に届出をし、その許可を得るものとする。その場合、当該執筆者は、号数等を含めて本誌に掲載されたものである旨明示する。

〔募集・締切〕

11 原稿は、毎年5月に募集し、9月末日を提出締切とする。

〔抜刷〕

12 執筆者は、原稿掲載号を3部受け取ることができる。

2) 抜刷は、執筆者による実費負担とし、希望する場合、掲載決定後、編集委員会にその旨通知するものとする。

附則

本要領は、平成29年4月26日から実施する。

京都大学国際高等教育院

紀要

Kiyô

The Institute for Liberal Arts and Sciences Bulletin  
Kyoto University

---

第 5 号

発行：2022 年 3 月

編集・発行者：京都大学国際高等教育院

〒 606-8501 京都市左京区吉田二本松町

TEL: 075-753-9359 FAX: 075-753-7851

<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>

印刷所：中西印刷（株）

# Kiyô

The Institute for Liberal Arts and Sciences Bulletin  
Kyoto University

Vol. 5

---

## Research Paper

- Changes and Challenges in the Teaching of French at Kyoto University:  
From 1949 to the 21st Century..... Noriyuki Nishiyama .... 1
- Roles of the Bridging Program Between Japanese Language Courses  
and Specialized Courses  
..... Koyo Akuzawa, Kayo Okamura, Satoko Kurosaki, Akemi Tanahashi .... 19
- The Polysemic Network of Japanese Abstract Noun *Uchi*  
..... Ruchira Palihawadana, Yuichi Takahashi, Atsuko Kondoh .... 37

## Survey and Practical Report

- Categorizing Errors in Machine-translated Academic Essays from Japanese (L1)  
to English (L2): Some Specific Findings and General Implications  
from Kyoto University EGAP Writing Classes.....Yosuke Yanase, David Lees .... 69
- Hosting Multicultural Educational Short-term Study Abroad Programs Based  
on Inter-University Agreements —10 years of Practice and Perspectives  
on Future Development—..... Liyou Han, Kaoru Nishijima, Junko Kawai .... 81
- Perspectives and Issues of Technical Japanese Language Education  
for International Students of Natural Sciences.....Yukinori Okada, Yuki Sasaki .... 103
- The Practice in “Advanced Japanese (Academic Reading IIIA)” for Kyoto iUP Students:  
With the Aim of Expanding Active Vocabulary Through Re-telling Activities  
..... Yuki Sasaki .... 119

## Note

- Indicating Shared Experiences in Learning English Grammar:  
A Conversation Analytic Approach to In-class Group-work..... Daisuke Yokomori .... 135
- Machine Translation in Chinese Classroom Instruction (in Chinese) ..... Aiqun Liu .... 163

## Survey Report

- Activities of the Institute of Liberal Arts and Sciences (2018–2020)  
.....Hisashi Miyagawa, Shinzaburo Itoh, Yoshinori Takahashi .... 173
- 2021 Year-end Freshman Student Questionnaire Results ..... 197

- Contribution Regulations** ..... 261

March 2022